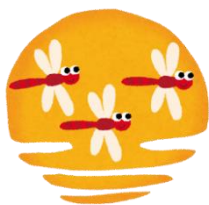


# Hop!



宇美南中学校  
1 学年 通信 No.14  
令和3年10月26日(火)  
(学年チーフ) 藤松 繁和  
(文責) 安松 裕子

## 初めての能楽体験

10月25日(月)、大濠公園能楽堂より能楽師の方々をお招きし、体育館で狂言「柿山伏」「兔」を上演していただきました。ほとんどの人が初めて狂言というものを見たと思います。伝統芸能というと、「言葉が難しそう」と近寄りやすいイメージをもっていた人も多かったと思いますが、実際に鑑賞した狂言はとてわかりやすく、楽しんで鑑賞することができました。

途中の体験コーナーでは、配布された詞章(せりふ)を見ながら、能楽師の方のお手本の後につけてみんなで練習しました。抑揚をつけながら山伏や烏、猿、畑主の台詞のまねをする1年生の姿は生き生きとしていて、とても楽しそうでした。今回は感染症対策として、1年生は教室でのオンライン鑑賞となりましたが、教室のあちこちから、山伏の声や、烏や猿の鳴き声が聞こえてきて、みんなが狂言の世界にどっぷりと浸かって楽しんでいることがよく分かりました。本物の狂言の面白さや迫力を存分に感じる事ができました。



次に、鑑賞をしての感想を紹介します。

- 「柿山伏」では、柿がないのに柿があるように感じたり、畑主と山伏がどんなことをしているのか想像したりと、何もなくても想像させることができるのは本当に素晴らしいと思います。言い方の勉強もでき、良い時間になりました。
- 声の大きさの強弱と、身振り手振りの演技で笑ってしまうところも少しは入っていたり、同じ言葉も速さを変えていた「飛びそうな、飛びそうな。」や音程を変えている「遣るまいぞ」と、文に伝えたい思いを速さや音程で表していたんじゃないかと思います。正座の体験もしたけど、足が痛いです。
- 能楽について詳しく学ぶことができました。能楽を鑑賞して、たくさんの自分達の知らない

い言葉が出てきましたが、能楽をしてくださった人たちの動きの表現によって面白さなどが、画面越しでも伝わってきました。能楽はとても迫力がすごく、一つ一つの動作のキレがすごかったです。能楽に興味を持つことができました。



- 今の日本人の言い方とは違って、すごく難しかったです。何回も繰り返すところが多かったりと、いろいろな表現があっすぎていました。言い方にも強弱や速さが違ってしている表現などもあって、すごいと思いました。
- 正直、今まで能楽のイメージはお面をつけてただ踊っているというイメージでしたが、今回の授業を受け、能楽には物語もあり、人を踊りだけではなく話し方や物語で笑顔にしたり感動させられるということが分かりました。それにやっぱり能楽にも基本的な動きがあることを知り、今日来てくださった方々があんなに上手なのは、今までたくさんの練習を重ねてきたんだなと思いました。
- 能楽のことについて、最初のころは「おもしろいの?」と思っていた私でしたが、聞いていくにつれて、だんだんとおもしろくなり、最終的にはずっと笑っていました。実際に立ち居振る舞いをしたとき、始めに正座をしたとき、すぐに足がしびれてしまい、立ったときには激痛が走るほど痛かったです。狂言をまねしたときは、自分よりみんなの方が上手くておどろきました。今日の能楽鑑賞、すごく楽しかったです。



## 次は学力分析テスト



夏の課題テストが返却された後に行われた学年集会を覚えているでしょうか。自分自身の学習の仕方をふり返り、これからの課題について考えました。その中で、数学と英語に力を入れて取り組むことを決め、始めました。

それから1ヶ月。みんなの学習に対する取り組み方は、どのように変わったでしょうか。金曜日・月曜日の確認テストは、確実に合格できるように、しっかり勉強しましたか？

学習は積み重ねです。今日学習したことは、その日のうちに復習しておきましょう。そうすると、明日学習することが身に付きやすくなります。毎日の家庭学習が大切だというのは、そういうところです。今週木曜日10月28日の学力分析テストは、これまでの学習の成果を発揮するテストです。

今、基礎をきちんと身に付けておけば、2年後の進路を考えるとときに、選択の幅が広がります。将来を考えるために、今の学習を大切にしましょう。1年生のみんなの頑張りを期待しています。